

市政を問う

一般質問

議員の

Q & A
市の

質問者（質問順）

小澤 彰一	篠原 敏宏	山口 恵子	横沢 英一	柴田 博	古畑 秀夫	永井 泰仁	中原 巳年男	金子 勝寿	永田 公由	村田 茂之	平間 正治
-------	-------	-------	-------	------	-------	-------	--------	-------	-------	-------	-------

一般質問は、議員個人が市政全般に関わるさまざまなテーマについて市の方針や市長の考え等を問いたただす場です。平成29年9月定例会では12人の議員が一般質問を行いました。

※本文は質問者自身の原稿によるものです



インフラ整備と 市民生活について



小澤 彰一
(日本共産党)

◆市長の政治姿勢、核兵器禁止条約について

問 7月、国連で核兵器禁止条約が採択されたが、日本政府は会議に不参加、署名も拒否している。政府の対応をどう考えるか。

答 この条約にはヒバクシャ国際署名が大きく貢献した。私も県内すべての首長とともに賛同し署名している。本市は、平和都市推進宣言以来、平和祈念事業を推進している。今後も国内外の自治体と連携して、核兵器の廃絶と世界の恒久平和に向けた取り組みを行っていく。

◆インフラ整備について

問 長野道上の市道跨道橋は断層帯にあり危険である。今後、長期にわたって点検・保全に負担がかかるが、どのように考えているか。

答 5年に1度の定期検査、補修、撤去には多額の費用がかかる。センサーなどにより通行量を調査し、必要な施設の選択を行い、安全で安心な

橋梁の維持管理に努めたい。

◆市民の教育権について

問 過疎・過密を抱える本市の初等・中等教育の在り方をどう考えているか。

答 どちらも微妙な問題をはらんでいる。過疎地域については通学区域審議会で議論いただいている。過疎地域についても教育振興検討部会で議論いただいている。地域の特性を生かしながら、特色ある教育を進めていきたい。

◆その他の質問事項

桜沢バイパス隧道関連、環境保全条例、国民健康保険単位数などについて質問した。



みどり湖パーキング付近